



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-112

(2023. 1. 24)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

VUCA時代に突入した2023年の社会の動きを占う「施政方針演説」

わらしな 和寿 薫品

ポイント

- 「施政方針演説」は、毎年1月に召集される「通常国会」の冒頭で、内閣総理大臣が、衆参両院の本会議において、内閣を代表して国政全般にわたる基本方針を示すために行う演説である。2023年は、1月23日に召集された第211通常国会において行われた。
- 施政方針演説では、こども・子育て対策が政権運営における最重要政策に据えられた。そのほか、「構造的な賃上げ」や「(人への投資のうち) リスキング」等、ダイバーシティ実現に向けた「女性」、「若者」、「地方」等、新型コロナ対策を巡っては「ウイズコロナ」や「新しい生活様式」等がキーワードといえ、いずれも今後ますます注目されるだろう。
- 企業がサステナビリティ経営に取り組むにあたって検討するマテリアリティ(重要課題)の設定では、外部環境の変化あるいは将来に向けたトレンドを考慮することが大切であるという観点から、施政方針演説で強調されたポイントは役立つであろう。

1. 施政方針演説とは

施政方針演説は、「毎年1月に召集される常会(通常国会¹)において、内閣総理大臣が向こう1年間の政府の国政全般に取り組む基本方針を示す」ために行う演説である²。すなわち、毎年1月に召集される「通常国会」の冒頭で、内閣総理大臣が、衆参両院の本会議において、内閣を代表して国政全般にわたる基本方針を示すものである。

一方、所信表明演説は、内閣の基本方針を示す点は施政方針演説と同じであるが、臨時国会や特別国会の召集、あるいは新しく内閣総理大臣が選出された時に、内閣総理大臣が国会でみずからの政治姿勢や重点課題を明らかにする演説である³。

2023年は、1月23日に召集された第211通常国会において、岸田文雄首相が施政方針演説を行った⁴。本稿では、2023年の社会の動きを占う観点から、施政方針演説のポイントを紹介する。なお、木内(2023)によると、1年前の岸田首相による初めての施設方針演説では、新型コロナの感染急拡大を受けて、新型コロナ問題への対応についての発言が大きな割合を占めていた。

2. 第211通常国会における岸田文雄首相の「施政方針演説」のポイント

施政方針演説において、岸田文雄首相は、冒頭で、ロシアによるウクライナ侵略を「法の支配に

¹ 首相官邸ホームページ(<https://www.kantei.go.jp/jp/pages/kokkai.html>)では、「常会は、毎年1回1月中に召集されます。これは、次の年度の国の予算やこの予算を実行するのに必要な法律案などを審議する重要な役割を持ったものです」と解説されている。なお、NHKによると(<https://www.nhk.or.jp/politics/kotoba/47122.html>)、施政方針演説は、外務大臣による「外交演説」、財務大臣による「財政演説」、経済財政担当大臣による「経済演説」と合わせて「政府4演説」と言われると解説されている。

² 参議院ホームページ(<https://www.sangiin.go.jp/japanese/aramashi/keyword/daihyo.html>)を参照。

³ NHKホームページ(<https://www.nhk.or.jp/politics/kotoba/47122.html>)を参照。

⁴ 首相官邸ホームページ(https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2023/0123shiseihoshin.html)を参照。

よる国際平和秩序への挑戦」と表現しながら、明治維新、第二次世界大戦終戦とともに「歴史の転換点」と位置付けた。

また、わが国の経済社会の持続性と包摂性を検討する上で少子高齢化に危機感を示し、「出生率を反転させなければならない」と述べ、こども・子育て対策が最重要課題であると強調し、2023年の政権運営における最重要政策に据えている。施政方針演説の原案が明らかになった2023年1月19日には、保育施設や放課後事業を運営するSERIOホールディングスの株式に買いが集中してストップ高になる等、政府の少子化対策強化は業績拡大の追い風になるとの見方から関連銘柄に買いが集まる動きがみられた。今後、具体策と安定財源の確保が期待される。

持続的な賃金アップに対しては、「物価上昇を超える賃上げの実現」を目指す方針とともに、学び直し（リスキリング）や成長分野への労働移動などを通じた「構造的な賃上げ」実現についても盛り込まれた。「骨太の方針2022」（2022年6月7日公表）において「人への投資」を重点投資分野の一つに掲げていることから、単なる賃上げではなく、賃上げのための環境整備に触れた点はポイントであろう。また、「骨太の方針2022」では、「デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資」も重点投資分野の一つに掲げられ、2023年中、その実現に向けた「デジタル人材の育成」の具体策にも注目が集まるのではないだろうか。

「老若男女、障害のある方も、ない方も、全ての人が生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会」の実現についても強調された。「女性」、「若者」、「地方」の力を引き出していくための政策に力を入れていきます。」と表明していることから、「女性」、「若者」、「地方」等はキーワードであろう。米国コロンビア大学のジェフリー・サックス教授らが中心に作成、公表している「サステナブル・ディベロップメント・レポート2022（Sustainable Development Report）」によると、SDGsの進捗度において、わが国は世界第19位と、欧州以外では健闘しているものの、個別項目をみると、ジェンダーの平等での評価は低めである。こうした観点からも、特に「女性」の活躍は、ダイバーシティ社会の実現に向けて、大きな鍵を握るだろう。

さらに、新型コロナ対策について、各種報道のとおり、2023年春に、感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に引き下げることを目指す考えについてもアピールした⁵。コロナ禍が終息しない中で行動制限がなくなることから、今後ますます、「ウィズコロナ」や「新しい生活様式」等のキーワードが注目されるだろう。

大きな話題となった防衛費については、5年間で43兆円の防衛予算の確保を通じ、防衛力の抜本的な強化を進めていくとともに、行財政改革の努力を最大限行ったうえでも不足する財源を増税で賄う方針が改めて示された。

本演説の中では、「検討」も「決断」も、そして「議論」も、全て重要であり必要です。それらに等しく全力で取り組むことで、信頼と共感の政治を本年も進めてまいります。」との意思表示があったことから、2023年は“実行の年”であることを期待したい。

3. サステナビリティ経営におけるマテリアリティの策定に向けて

ウクライナ紛争をはじめ、未来の予測が困難となるVUCA時代⁶に突入する中、今回の施政方針演説で強調された内容は、岸田文雄首相が掲げる「新しい資本主義」の実現に向けて、2023年6月

⁵ 詳細は、首相官邸ホームページ(https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/statement/2023/0120kaiken.html)における2023年1月20日の会見も参照。

⁶ Volatility(変動性)・Uncertainty(不確実性)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)の頭文字を取った造語で、社会あるいは事業活動において、不確実性が高く将来の予測が困難な状況であること。

に閣議決定される「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」に大枠が盛り込まれる見込みである。

企業経営においては、ニュース&トピックス No. 2022-78⁷（2022年9月20日発行）や No. 2022-111⁸（2023年1月19日発行）のとおり、「サステナビリティ」への注目が高まっている。企業がサステナビリティ経営に取り組むにあたっては、目指すべき姿であるサステナビリティポリシーの策定後、マテリアリティ（重要課題）の検討が求められる。マテリアリティの検討では、外部環境の変化あるいは将来に向けたトレンドを考慮することが大切であるという観点から、施政方針演説で強調されたポイントは役立つであろう。これらポイントのうち、自社およびステークホルダーにとって重要度が高いものがあれば、それが、自社にとっての有力なマテリアリティの一つとなるだろう。

以上

<参考文献>

- ・ 首相官邸ホームページ
- ・ 各機関・各社（参議院、NHK）ホームページ
- ・ 木内登英（2023年1月19日）「異次元の少子化対策が柱となる岸田首相の施政方針演説」NRI 木内登英の Global Economy & Policy Insight

⁷ 信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページ(<https://www.scbri.jp/PDFnews&topics/20220920.pdf>)を参照。

⁸ 信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページ(<https://www.scbri.jp/PDFnews&topics/20230119.pdf>)を参照。